



**1. 説明文**  
 この図は、種井川水系種井川の水位横断断面図について、水防法の規定により指定された浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。  
 この浸水想定区域等は、指定時点の種井川における河道の整備状況を勘案して、洪水防衛に関する計画の基本となる降雨である概ね30年に1回程度起こる大雨が降ったことにより、種井川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。  
 なお、このシミュレーションの実施に当たっては、支川の氾濫、想定を超える降雨、高潮、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合は、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

**2. 基本事項等**

① 作成主体	福岡県福岡土木事務所
② 指定年月日	平成19年10月1日
③ 告示番号	福岡県告示第1004号
④ 指定の根拠となる法令	水防法（昭和24年法律第193号）第14条 第1項
⑤ 対象となる水位情報通知河川	種井川水系種井川（実施区域：試験橋樑11000mから海まで）
⑥ 指定の前提となる計画降雨	種井川流域（基準地点 百道五橋上流）の24時間降雨量約300mm

**3. 関係市町村**  
 福岡市

**4. その他の計算条件等**

① 氾濫計算は、対象区域を90mメッシュに分割して、これを1単位として浸水水位を計算しており、また、河口より10.4km付近上流は、河道と氾濫区域を一体として100mごとに浸水水位を計算しています。

② 浸水想定区域や水深等は、氾濫計算結果から各計算メッシュ毎の想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性を、1/2500の地形図上の地形、連続型土構造物（運路や堤防など）を考慮して図化しています。

